

(社) 日本建築学会 近畿支部  
2019 年度第 4 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2019 年 11 月 13 日 (水) 16:00-19:00

場所：グランフロント大阪 大阪大学工学研究科オープンイノベーションオフィス

出席者：東 (実) (主査), 袁, 小林, 近藤, 崔, 檜崎, 松尾 (幹事), 光野, 山澤, 山中, 竹村 (記録)  
(敬称略)

資料：・議事次第	資料 4-0
・第 2 回空気環境部会議事録 (案)	資料 4-1
・令和 2 年度空気環境部会予算請求書	資料 4-2
・2020 年度支部研究補助費申請書	資料 4-3
・第 8 回空気環境シンポジウムの企画について	資料 4-4
・知的生産性の評価について (話題提供)	資料 4-5
・作業実験事例の紹介 (話題提供)	資料 4-6

議事：

1. 追加委員の確認

山澤氏 (大阪大学・博士後期課程) の自己紹介があった。

2. 前回議事録の確認

修正等は特になし。11/8 の大阪建築技術協会共催のシンポ (第 3 回部会に相当) と NEE 研究会の講演会の概要報告があった。

3. 次年度の活動計画と予算申請について

- ・支部研究補助費の採択が濃厚であることが報告された。
- ・U40 はチュートリアル的なことも視野に、高齢化する委員の整理を図りつつ上記の研究補助費を活用しながら部会と一体となって活動する。
- ・活動計画と予算申請は承認された。

4. 話題提供

・崔先生

知的生産性の測定手法の全体的なレビューと、学習効率・記憶作業と香りの関係の研究事例が紹介された。知的生産性の定義について、挙げられた測定手法が何を評価していることになるのかなどが議論に挙げられた。

・竹村

近年実施した様々な作業実験の測定手法を紹介した。特に CO2 環境下での実験に関する質疑が多く行われた。

5. 今年度のシンポジウムについて

- ・日程を 3/26 (予備), 27 (本命) で外部講演者のご都合を伺うことにした。
- ・会場は大阪大学中之島センターとした。
- ・講演順は下記の通りで計画することにした。当初大宮氏で打診していたが、シンポ内容をお伝えした大宮氏から徳村氏が推薦されたので講演予定者を変更した。
  - ①崔先生：知的生産性の概説と学習効率の研究事例：45min
  - ②竹村：作業実験を数例紹介：35min
  - ③長續氏：技術研究所の取組みと知的生産性の研究事例：35min
  - ④徳村氏：オフィスの快適・知的生産性 (タイトルは他イベントから変更頂くよう依頼する)：35min
  - ⑤PD (コーディネータ：近藤先生)
- ・参加費は前回に倣い、部会員 1000 円、非会員 2000 円、学生無料で計画する。
- ・予算：外部講師の旅費 (東京 2 名) はご本人に要不要を確認する。謝礼は前回に倣い 5000 円で検討する。会場費は 30000 円程度、印刷費は前回と同程度の 50000 円程度で見込む。
- ・協賛依頼は、空衛学会近畿支部と室内環境学会関西支部に行う。広報は、前述の 2 団体経由と、建築学

会環境工学 ML（全国）に掲載依頼（大風先生）する。その前に、支部 Web ページに会告を掲載する。

5. 次回日程

次回は 3 月のシンポジウムを部会に代える。それまでに協議・調整が必要なことがあればメール対応とする。

以上